

梅田大使挨拶（神奈川県投資セミナー）

（2018年11月16日（金））

黒岩知事を始めとする神奈川県の皆様、

ベトナム企業関係者の皆様。

●本日、神奈川県投資セミナーがかくも盛大に開催されることにお祝い申し上げます。今年2018年、日本とベトナムは外交関係を樹立して45周年を迎え、日越関係は、全ての分野で緊密度を増しています。この機会に、日本政府を代表して、日越経済関係を中心に3点述べます。

●一点目は、ベトナム経済が歴史的チャンスを迎えていることです。現在ベトナム経済は、経済成長率、インフレ率などマクロ経済指標はとも良く、外国からの直接投資も極めて順調です。ベトナムは、克服すべき課題は多々あるものの、成長のエネルギーに満ち満ちており、正に大きく飛躍する歴史的チャンスを迎えています。日本は、ベトナムがこの歴史的チャンスを活かし持続的成長を達成できるよう、連携を強化したい考えです。経済的にも政治的にも強いベトナムは、日本を含む東アジアの安定と繁栄にとって極めて重要と考えています。

また、本日お会いしたベトナム政府要人にも伝えましたが、CPTPPの国内手続きを終えて、寄託国NZに通報したことは、とても朗報です。

●二点目は、ベトナムの労働生産性に関してです。ベトナムが持続的成長を達成するために克服すべき大きな課題の一つは、生産性向上です。ベトナムの生産性は、アセアン10か国中、3番目に低いのが実情です。これは、発展するチャンスがあるということです。日本は、ベトナムの生産性向上、競争力強化のために、ベトナム共産党及び政府との連携を

強化したい考えであり、既に相談を開始しています。労働意識・規範に関すること、心の中に関することであり、容易ではありませんが、ベトナムの将来にとって避けて通れない課題です。

●三点目は、日本の少子高齢化・深刻な労働力不足とベトナムへの期待です。現在日本には約30万人のベトナムの方が居住し、日本経済を支えて頂いています。日本では、新たな外国人在留資格創設をおこなう法案について国会審議が始まっています。成立すれば、来年4月以降、ベトナム人材への期待は、一層高まると考えています。恐らく、各国の中でベトナムへの期待は一番大きいと思います。

●その一方で、日本では、ベトナム人による犯罪が国別で一位になっています。その背景には、ベトナムの若者を食い物にする悪徳仲介業者等が日越両国に存在し、若者たちに多額の借金を背負わせ、犯罪に追い込んでいる実態があります。いま日越両国政府が協力して施策を強化中です。神奈川県にもたくさんベトナム人がいると思います。夢を持って、自分の人生を良くしたいという強い気持ちを持って、日本に行っています。ぜひ温かい目で見守ってあげてください。

●今回の投資セミナーの主目的は、ベトナム企業からの投資を呼びかけることと伺っています。ベトナムの昨年トップ企業500社のうち、約半数が国有企業、半数が民間企業ですが、年々、民間企業の存在感が増しています。これまでの日越経済関係では、日本の対越直接投資に焦点が当たってきましたが、人の流れと同様に、今後ベトナム企業の対日投資呼び込みは、とても大切であり新鮮な視点です。このセミナーを通じ神奈川県の魅力が多くベトナムの方に理解されることを心より期待致し

ます。本日ベトナムのリーダーにも申し上げたのは、黒岩知事のイニシアティブのおかげで、神奈川県とベトナムの関係は良好であり、それはベトナムで働いている日本人にとってもありがたいものとなっています。黒岩知事にはぜひ今後もイニシアティブを取って頂きたいと思っています。

●最後に、皆様の御健勝、セミナーの成功、神奈川県とベトナム関係がより強固なものとなることを祈念しまして、私の挨拶といたします。(了)